



石浜だより

令和8年1月30日

台東区立石浜小学校

校長 安藤 良介

TEL 03-3875-0031

<https://www.taito.ed.jp/1310228>

節分、立春、2月。 節目を迎えるための心構えをつくる大切な時期

校長 安藤 良介

校舎や校庭をつつむ日差しは、日に日に明るく温かさを増しています。校庭や屋上で外遊びする子供たちは、冷たい北風の中でも元気いっぱい。なわとびや持久走で、自分の目標に向かって努力を重ねている子供たちの姿から、春の足音が聞こえてくるようです。

さて、1月の土曜学校公開日では、PTA主催、恒例の新年餅つき大会が行われました。「よいしょ！」のかけ声、杵で餅をつくときの心地よい音、そして子供たちの笑顔。餅つきは、いつまでも大切にしたい日本の伝統文化の一つです。近年、コロナ禍の影響や各種感染症を鑑みて、各地で開催を断念する傾向にある中、このように健康と安全に十分配慮し、子供たちが伝統行事にふれる機会をいただけたこと、開催に向けてご協力ご尽力いただいた方々に心から感謝いたします。



持久走週間 元気に走る子供たち

そして、2月3日は節分の日です。節分に「豆まき」をされるご家庭もあるかと思います。私たちの心の中にいる「相手の気持ちを考えない鬼」や「自分だけがよければよいという鬼」。そんな鬼を退治し、みんなが幸せな一年になることを願っています。

ところで、節となる時や事柄を「節目」といいます。新しい年がスタートして1ヵ月が経ちました。2月は、子供たちにとって、次の学年への進級や中学校へ進学という節目を迎えるための心構えをつくる大切な時期です。子供たちに、これまでの自分、これからの自分、そして、なりたい自分、それぞれの自分の姿をはっきりとイメージしてほしいと願います。2月は「ふれあい月間」でもあります。子供たちの思いや願い、不安や希望を私たち教職員がしっかりと受け止め、進学や進級に向けて期待を膨らませられるよう励ましていきます。立春を過ぎ、やがて訪れる春本番に力が発揮できるよう、しっかりと力を蓄える2月にするよう指導して参ります。

人権標語

- ☆ あいさつすると みんながにこにこ
- ☆ あいさつは言えば 自分も君も うれしいよ
- ☆ 大切な 気持ちが大事な 高れい者
- ☆ 交流会で もっともっと なかよくなりた
- ☆ 「助けたい」 そう思えるのが 第一歩
- ☆ 差別なく みんながくらす バリアフリー
- ☆ いただきます 命と職への 感謝込めて
- ☆ あたりまえ 守っているのは 生産者
- ☆ 人権 歴史 忘れない
- ☆ 必要な事なのに なぜ差別されなきゃならないの

石浜小学校の人権目標

- ・自分を大切にする子
- ・人を大切にする子
- ・互いの違いを尊重する子

テーマ

- 2年「挨拶」
- 3年「高齢者」
- 4年「障害者」
- 5年「同和問題(食肉)」
- 6年「同和問題(皮革)」